



# 新庁舎建設に続く大型開発と受益者負担はやめて、市民のいのちと暮らし第一の市政を

6日、日本共産党市議団は、とのむら健一議員が一般質問に立ちました。その要旨を紹介します。

## 市職員が最も少ないことは「誇るべきこと」(市長)

市議会議員

## とのむら健一



とのむら健一市議は、「市長の施政方針」についていただきました。市民の暮らしを

さらに深刻にさせる消費増税に、市長は反対すべきだがどうかと質問しました。石阪市長は、市民のくらしに実態については全く答えませんでした。

行われていた問題も、良質な仕事と労働者の賃金が削減されることのないように見直しを求めました。

「市民協働型都市」づくりを標榜しながら市民に対しては、受益者負担を押しつけるやり方はやめるべきだがどうかと質問。担当部長は、受益者負担をすすめるかと答弁しました。

「まちだ未来づくりプラン」では、230億円の財政投入をした新庁舎建設に続いて、中心市街地の大型開発が計画されています。担当部長は、「開発の規模などについては、今後プロジェクトチームが検討する」と述べ、大型開発にいくら財政投入が必要かを明らかにしないまま推進する考えであると答えました。新庁舎周辺の交通渋滞や安全対策については、さらに対策を強化するよう求めました。また、新庁舎に引越すための業務委託契約が予算の20%を切るようなダンピングが

東日本大震災から学ぶべき教訓は、地方自治体が市民のいのちと暮らしを守ることであり、市職員の役割は大きいこと。市民に対する市職員の数は類似都市の中でどの位置かとの質問に、全国で一番少ないことが明らかにになりました。市長は、それは「誇るべきこと」と居直りました。

### 議員定数削減や国旗掲揚求める請願が

今議会には、市民のみなさんから「男女平等推進センター活動室・多目的実習室の有料化中止を求める請願」「町田市における放射能対策強化を求める請願」「町田市議会本会議場、市長室、議長室に国旗の掲揚を求める請願」「町田市議会議員の定数削減を求める請願」など、8つの請願が出されました。請願は、13日からはじまる各常任委員会や特別委員会で審査されます。

### 本日7日の一般質問—傍聴にお越しく下さい

**細野りゅう子 7日水3番目**

- 安全で豊かな学校給食を守り、さらなる充実を求めて
- 地域医療連携と在宅医療の充実を求めて
- 市民のいのちと健康を守る国保制度を求めて